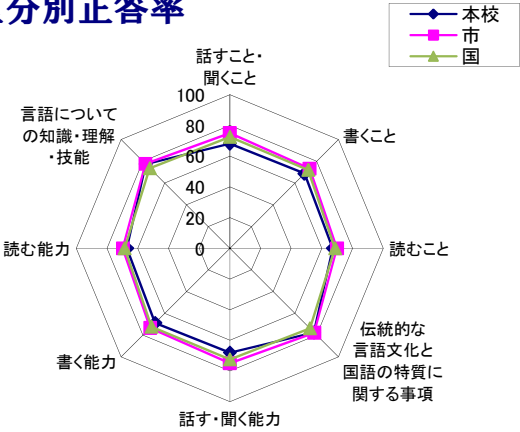


宇都宮市立岡本小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

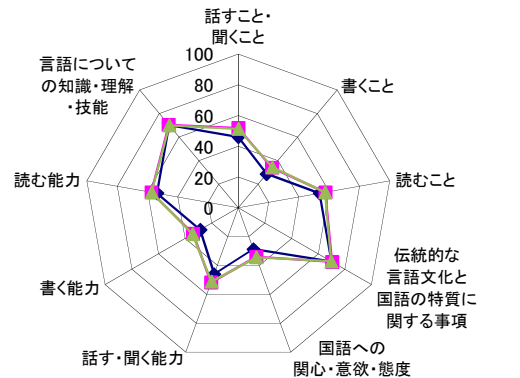
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.0	74.9	72.4
	書くこと	68.7	73.4	72.2
	読むこと	67.0	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.5	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	68.0	74.9	72.4
	書く能力	68.7	73.4	72.2
	読む能力	67.0	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	77.5	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	46.0	51.9	51.2
	書くこと	28.7	34.0	34.4
	読むこと	53.7	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.0	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	28.7	34.0	34.4
	話す・聞く能力	46.0	51.9	51.2
	書く能力	28.7	34.0	34.4
	読む能力	53.7	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	70.0	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○「国語の勉強が好き」と回答した児童は60%で、全国平均よりわずかではあるが高い。「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」という質問に肯定的回答をした児童の割合は、96%と高い。
○「読書が好き」という質問に肯定的回答をした児童は78%である。
●「自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」という質問に肯定的回答をした児童は60%とやや低い。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

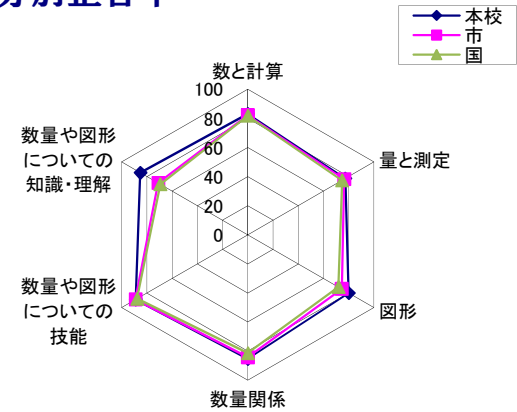
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○目的に応じて、話し合いの観点を整理する設問の平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。 ●領域の平均正答率は全国平均より低い。特に質問の意図を捉えたり、立場を明確にして質問や意見を述べる設問の平均正答率が低い。	・話を聞く際のポイントを明確にし、話の中心や内容に気を付けて聞くように指導し、話し手の考えを捉えられるようにする。また、構成を意識して話すように指導する。
書くこと	○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連付けながらまとめて書く設問の平均正答率は、全国平均より高い。 ●領域の平均正答率は全国平均より低い。特に複数の事柄を並列の関係で書いたり、文の意味のつながりを捉え、適切な物を選択したりする設問の平均正答率が低い。	・文章を書くときの基本的なきまりを確認し、国語の授業に加えて、行事の感想や依頼状、礼状等の手紙を書く活動を多く取り入れ、書く力の定着を図る。
読むこと	○新聞の投書を読み、表現方法として適切なものを選択する設問の平均正答率が高い。 ○詩の解釈における着眼点の違いを捉える設問の平均正答率は、全国平均より高い。 ●疑問を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む設問の平均正答率は、全国平均より低い。	・国語の授業に限らず、調べ学習を行う際に必要とする資料を見つけるポイントを明らかにし、目次や索引を活用した調べ方を身に付けさせていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の平均正答率は全国平均より高い。特に漢字の正しい読み書きに関する設問の平均正答率が高い。 ●言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する設問の平均正答率は、全国平均より低い。	・国語辞典や漢字辞典を引いて調べる学習を意図的にを行い、一層の定着を図る。 ・幅広い分野の本を読ませることによって語彙を広げたり、既習の漢字を積極的に使わせたりすることで、言葉に関する力の向上を図る。

宇都宮市立岡本小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

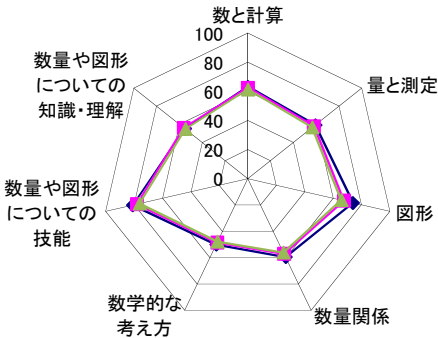
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	83.0	82.2	81.8
	量と測定	77.3	76.4	74.8
	図形	80.0	74.5	71.8
	数量関係	85.3	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	89.0	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	85.3	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	63.3	62.6	61.3
	量と測定	59.2	58.0	56.5
	図形	74.0	67.5	65.7
	数量関係	59.6	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	50.0	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	81.0	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	55.3	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

- 「算数の勉強が好き」と回答した児童の割合は66%とやや低めだが、「算数の勉強は大切である」を肯定的に回答した児童の割合は94%と高い。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合は全国平均より高い。
- 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した児童の割合は、78%とやや低い。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○領域の平均正答率は、全国平均と比較すると高い。特に整数の乗法の計算問題の正答率は98%で、全国と比べても高い。 ●10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択する設問の正答率は全国平均正答率を下回った。	・文章問題では、問題文にある数値の関係をとらえるために、図をかいたり、整数に置き換えて考えたりする方法を指導し、正しく立式できる力を養う。
量と測定	○領域の平均正答率は、全国平均と比較すると高い。特に、示された情報を基に、条件に合う時間を求める設問は、全国平均正答率を大きく上回った。 ●示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述する設問は、全国平均正答率を下回った。	・問題文の内容を理解できるようにするために具体物を用いて考えさせたり、自分の考えを表現する力を養うために、多くの問題に取り組ませたりすることによって定着を図る。
図形	○領域の平均正答率は、全国平均と比較すると高い。特に作図に用いられる図形の約束や性質を使って平行四辺形を作図する設問は、全国平均正答率を大きく上回った。 ●正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を表す式を選択する設問は、全国平均正答率を下回った。	・基本的な図形の定義や性質についての理解を深めるために、図形の作図や図形を敷き詰めたり分割したりする活動など、作業的・体験的な活動を取り入れる。
数量関係	○領域の平均正答率は、全国平均と比較すると高い。特に、答えが $100 - 20 \times 4$ の式で求められる問題を選ぶ設問では、全国平均正答率を大きく上回った。 ●最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を述べる設問は、全国平均正答率を下回った。	・四則の混合した計算の仕方を身に付けさせるために、基本的な計算のきまりを確認するとともに、多くの計算問題に取り組ませる。 ・割合の学習に対して抵抗があるため、身近な題材を取り入れながら割合を考えさせる機会を増やす。

宇都宮市立岡本小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

- 「朝食を毎日食べている」という質問に対する肯定的回答率は、100%である。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」という質問に対する肯定的回答率は、98%と高い。
- 「人の役に立つ人間になりたい」「人の気持ちが分かる人間になりたい」という質問に対する肯定的回答率は、それぞれ94%、90%と高い。
- 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」という質問に対する肯定的回答率は、92%と高い。
- 「自分にはよいところがあると思う」という質問に対する肯定的回答率は、78%である。教育活動全体を通して、達成感や充実感を味わえるように指導し、そのがんばりを認めることを通して、自尊心を高めていきたい。
- 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」という質問に対する肯定的回答率は42%と低い。ペアでの話し合いやグループなどの少人数での話し合いを通して、自信をもって発表できるように指導していきたい。
- 「家で学校の復習をしている」という質問に対する肯定的回答率は44%と低く、さらに「家で学校の予習をしている」という質問に対する肯定的回答率は、26%という低い数値であった。家庭学習の充実や効果的な時間の使い方について、具体例を挙げながら指導し、改善を図っていきたい。